

鹿半島。破滅的被害を受け、都市部から離れているため復興が遅れています。しかし、そこには、今でも素晴らしい景色があり、すべてを失っても強く生きる人々がいます。



●現在の牡鹿半島の様子

南海トラフ地震が懸念される中、牡鹿半島と渥美半島は、同じ半島としてひと事ではありません。何か復興支援はできないか、被災者の人々の経験を田原市の防災・減災に役立てないかと考え、思いついたのが、震災から3年、やぐらや提灯が流されてしまい開催されなかった盆踊りを復活させることでした。

そこで、その盆踊りで全国的にもとてもめずらしい田原の手筒花火をあげ、元氣を出してもらいたい、田原市との交流の糸口になつてほしいという願いを込めて、牡鹿さ、いざいざ2014盆踊り



投稿 手筒花火で復興支援募金

田原の手筒を被災地へ

手筒でつながる復興支援!

を企画しました。

そこで、田原祭り五町の煙火の有志が、牡鹿半島で手筒花火を行い、手筒花火の勇壮さと心意気で盆踊りを盛り上げます。

◆手筒花火を牡鹿半島へ持つていくための募金を行っています。

●募金団体 手筒花火で復興支援募金

●対象 〓この祭りに賛同いただける法人および個人の方

●期間 〓8月21日(木)まで

●イベント内容 〓やぐら・提灯の提供／盆踊り／手筒花火／飲食出店／子ども太鼓・アーティストライブ／パフォーマンスなど

●目標金額 〓100万円

●その他 〓募金は振り込み・募金箱にて／振り込みの場合は、必要書類を送付します。詳しくは、お問い合わせください。

●問い合わせ 〓手筒花火で復興支援募金(代表 鈴木信二)

☎080・4656・3260

HP <http://mattaira.com/shikabon.html>



今月の花

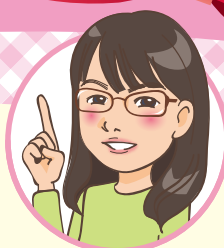
レイコの花

農政課 ☎23局3517

〓「今月の渥美半島の花」が「今月の渥美半島の花と鉢花」に

渥美半島で生産されているたくさんの種類の花をもっと市民のみなさんに知ってもらうため、「今月の渥美半島の花」が今年から「今月の渥美半島の花と鉢花」になり、毎月2種類ずつ全24種類としました。

これからは、三河田原駅や公共施設などで展示を行い、みなさんの目に触れる機会を増やしていきたいと思います。また、「平成26年度 今月の渥美半島の花と鉢花」のポスターを作製し、公共施設などに掲示を行いPRを図ります。ここで紹介する花は全て渥美半島で生産・出荷されています。こんなにたくさんの種類の花が生産されているなんてすごいと思いませんか。どんな花を贈ればいいのか、迷ったら「今月の渥美半島の花と鉢花」を参考にしてみてください。



6月の渥美半島の花と鉢花



アルストロメリア
(花／出荷時期:10月～6月)

花ことば
エキゾチック・援助・持続

県内で生産しているのは田原市のみで、約70品種ほど生産されています。



ハイビスカス
(鉢花／出荷時期:4月～6月)

花ことば
常に新しい美

県内1位の生産量で、約49万鉢出荷されています。